

電機・情報ユニオン

2012年4月10日 第7号
 発行 電機・情報ユニオン
 〒108-0073 東京都港区三田3-2-20
 Tel 03-3455-6006 Fax 03-3451-3595
 Email : dp45011930@de.lolipop.jp
 H P : http://denki-union.com/

1000名の組合を早期に実現しよう

拡大・第3回中央執行委員会を開催

執行委員会の冒頭には、根本隆・全労連副議長から、組織拡大に関する特別講演が1時間行われました。根本副議長は「組織拡大の方針・体制を日常化し、戦略的に継続したアプローチを展開することが重要」と強調され、その取り組みを通して、知恵も経験も成果も出てくることを、全労連が取り組んできた事例をあげながら分かりやすく話されました。

電機・情報ユニオンは3月24日(土)から25日(日)、拡大・第3回中央執行委員会を開催しました。本会議には、中央執行委員の13名に加えて、関東地方本部、関西地方本部、東京支部、茨城支部の各執行委員と電機労働者懇談会の今井節生代表も参加。総勢23名で組織拡大を正面にすえた論議を2日間行いました。

米田委員長は、「素案」に基づいて、この間の組合活動と財政確立ならびに組織整備の進展状況を報告し、今後の組織整備と強化の方向を提案しました。最後に、結成大会で宣言した1000名の組合員を早期に達成するため、組合員拡大の「倍加運動」を提起しました。



2日目に行われた全体討論では、「北関東支部の結成ではなく、埼玉支部群馬支部をつくることを提起してもらいたい」「茨城支部は倍加をめざしたい」など、分散会の内容を深める発言が相次いで出されました。

組織強化・拡大に総力をあげて取り組む

2日間にわたる会議で、

第7号の紹介

1面	拡大・第3回中央執行委員会を開催
2面	東京地評との懇談会を実施 東京支部 3・11集会
3面	米田委員長メッセージ 第3回組合員のつどいを開催 東京支部 団交申し入れで解雇撤回！ 関西地方本部
4面	鈴木喜美子さんを語る会 交流のひろば、告知板

続いて、米田徳治委員長から「当面する組織強化問題に対する素案」の提案・説明が行われました。米田委員長は、「素案」に基づいて、この間の組合活動と財政確立ならびに組織整備の進展状況を報告し、今後の組織整備と強化の方向を提案しました。最後に、結成大会で宣言した1000名の組合員を早期に達成するため、組合員拡大の「倍加運動」を提起しました。

活発な論議が交わされた分散会

「素案」の提案を受けて、参加者は3班に分かれて、討議を行いました。分散会の討議では、この間の中央本部、地方本部や支部の活動が交流され、「素案」に対する意見や要望、新たな支部の結成についての可能性と問題点、HPの開設、労働センターの新設など、活発な議論が行われました。

全組合員の参加のもとで総力をあげて取り組み、組織の強化と拡大をはかることを訴えるものです。

今の若者は幸せか

東京支部
松本 謙司 さん

内閣府の「国民生活に関する世論調査」結果によると、2010年の時点の数値は20代の70・5%が「現在の生活に満足」である。30代65・2%、40代58・3%、50代は55・3%と年を重ねる毎に下がっている。2011年での20代は74%に。

社会学者の古市憲寿さん(27歳)は「将来への期待が低い分、20代は現状に満足しやすい」と分析している。2012年2月の失業率は4・5%、15歳〜24歳は9%で働いている若者の50%が非正規雇用だ。

雇用、低賃金、・1997年以降、若者の働く環境は悪化の一途なのに「幸せ」だと思ふ数値は上昇する「いびつ」。

横浜市大教授の白石百合子さん(49歳)は、幸福度の感じ方は、所得、家族などの属性より多くのものを求める野心、が関係しているが、生

交流のひろば

活の基盤が崩壊している若者が、社会の「いびつ」の改善を求めない「幸せ」では寂しいと思うのは、自身の老齢化の証なのだろうか。

画電点睛を欠いた？
「カーネーション」

中央本部
塩田 儀夫 さん

NHK朝の連続ドラマ「カーネーション」が3月で終了しました。

国際的デザイナーとして活躍中のコシノ3姉妹(ヒロコ、ジュンコ、ミチコ)のお母さん一代記の話で、ファッション界を舞台として虚実入り混ぜてのドラマはそれなりに面白かったのですが、

ところが、あと3回で終りという時に目が点になりました。2女(コシノジュンコがモデル)が着ていた

メーデーに参加しよう

産業別労働組合として発足した電機・情報ユニオンが、初めて迎えるメーデーです。中央、各地で開催されるメーデーに、仲間を大勢誘い合わせて、参加していきましょう。「電機・情報ユニオン」の旗を掲げ、労働者の連帯と団結の輪を広げ、リストラをはね返す力にしていきましょう。

コートがあるうことか迷彩模様だったからです。「画電点睛を欠く」というのはこのような場合のためにあります。ファッションとファッションの語源が同じだからというならば、ブラックユーモアかしらん。

あとがき

先月に泊まり込みで行った執行委員会を皮切りに、1000名の組合づくりがいよいよスタートしました。1000名になったら、労働相談の解決も、要求実現も格段に進むことでしょう。いまだに労働組合のない会社には、電機・情報ユニオンの分会を幾つかつくり、春闘では会社と賃上げの団体交渉もやってみよう。

みんな夢とロマンを語り合い、組織拡大を楽しみ取り組んでいきましょう。骨抜きにされた労働者派遣法の成立、JAL争議での不当判決、そして相次ぐリストラの知らせを聞いて、怒りが湧いています。労働者と労働組合は今、大企業の雇用破壊、リストラにどう反撃していくのか、問われているのではないのでしょうか。

リストラに対し、一人ひとりの労働者の立場で敢然とたたかう電機・情報ユニオンを大きくしていくことが求められています。(一)

参加の輪・支援の輪を広げましょう

- 電機懇「学習講演会」**
 「原発ゼロ再生可能エネルギーへの転換を」
 主催：電機労働者懇談会、電機・情報ユニオン
 日時：4月21日(土)13時30分~17時
 会場：港勤労福祉会館第一洋室(JR田町駅から徒歩5分)
- NECセミ偽装請負裁判**
 ・4月20日(金)10時30分熊本地裁
- 三菱名古屋派遣切り裁判**
 ・控訴審・名古屋高裁1003号法廷
 ・7月3日(火)13時30分~
- JMIU高見澤電機支部裁判**
 ・控訴審・第3回口頭弁論、東京高裁
 ・6月28日(木)11時00分~
- パナソニック若狭・正規雇用裁判**
 ・控訴審・第1回口頭弁論、名古屋高裁金沢支部
 ・4月16日(月)11時30分~

東京地評との懇談会を実施

東京支部

東京支部は3月21日(水)、東京地評との懇談会を持ちました。

出席は、東京地評から伊藤議長・松本事務局長・菊池組織局長・塚本局長。ユニオンから米田委員長・谷口副委員長・市毛執行委員とNEC懇小山さん、電機懇今井代表でした。

懇談会は、米田委員長より、結成後の諸活動を詳細に渡つて報告し、東京地評の菊池組織局長より「東京地評として大きな製造分野でのユニオン結成に期待、



3月21日、東京地評と東京支部の懇談会

いつでも加盟はできないので運動での共同を広げたい、東京地評は年間3200件の労働相談を受けておりユニオンに期待している」と表明されました。

最初に組織問題について「東京地評は、特に選択する事項はないので可能な範囲から加盟して頂きたい」、「東京支部は、既に八王子労連に分会で加盟しており今後可能な分会から加盟する」、今井さんから「神奈川労連と神奈川支部とは教訓的な取り組みをして

いる」などが出されました。

NECリストラの現状と取り組みについて小山さんより、

宣伝行動での労働者の反響が高まっている状況を報告し、4月には「第3弾ピラ」を配布、6月にシンポ&学習会を開催するなどの報告を受けて懇談しました。

最後に菊池局長より「東京地評の労働センターとの連携を強めユニオンの転送先に連絡する。NECでの宣伝方法は港区労連との協議を経て連絡を願う、今後双方からの必要性に応じて懇談会を開催する」とのまとめが行われました。

3月24、25日「電機・情報ユニオンを拡大強化しよう」と拡大中央執行委員会を開催しました。

全国の各支部執行委員と今井電機懇代表を加えて総勢23名の参加で壮大了でした。

昨年9月に全国組織を結成し、6ヶ月間の活動とこれまでの教訓を生かした活動から、今後を見据えた(当面第2回定期大会にむけて)組合員の拡大と組織強化の方向を話し合いました。

この間、全国単一の産業別の労働組合組織として何が出来るか。12年春闘はどう取り組んだらいいのか。模索しながらの取り組みでしたが、春闘要求で電機業界団体と初めて行った要請行動から教訓を掴んだように思います。電機情報産業で吹き荒れるリストラ攻撃に抗していくヒントを得ました。

業界団体に「リストラの中では企業は企業倫理・

第2回定期大会にむけて組織的前進を

米田委員長メッセージ

CS Rを守らない」と職場の実態を示すと、「業界としてはCS Rは遵守すべき立場は変わらない」とはつきり明言しました。

NECは、新年度からリストラを強行するスケジュール案を労組に提示しました。パナソニック、リコー、TDKも労働者への攻撃は続いています。通年闘争とならざるを得ない状況です。

会議の最後で私は「企業倫理を守れ」「労働者の雇用のために内部留保を吐き出せ」と求め、CS Rとコンプライアンスの履行、そして、国際規格ISO26000(社会的責任に関する手引き)の遵守を求めて闘っていくこと、その中で、組合員拡大と組合の組織化を進めていこうと訴えました。



東京・井の頭公園「震災復興なくせ原発3・11行動 in 東京」



川崎・中原平和公園「原発ゼロへのカウントダウン in かわさき」



大阪・扇町公園「なくそう原発府民1万人集会」



3月11日に全国各地で「原発ゼロ」の共同行動・集会が取り組まれま

3・11集会

第3回組合員のつどいを開催 東京支部

東京支部は3月18日(日)午後、「第3回組合員のつどい」を15名の参加で開催しました。

最初に、米田委員長より「電機・情報ユニオン結成後の到達点と今後の課題」について詳細に報告しました。

続いて、ラピスセミコンの再雇用で働いている4名の組合員に対して「宮崎に異動できなければ雇用の契約更新はしない」と事実上の退職勧奨をしてきたことに対する取り組みを検討しました。

さらに、個別労働相談状況などについても相談者から詳しく報告して頂き、参加者全員の理解を深め、解決に向けての方向を検討しました。

最後に八王子合同法律事務所の松尾弁護士からCSRに関して、株主優先のアメリカ型とヨーロッパ型がある事と内容について報告も頂きました。

就職できた木内さんから3月1日から法律事務所に通っている状況の報告があり、「つどい」で女性組合員から花束が手



3月18日、第3回組合員のつどい

渡され、終了後にお祝い会も開催しました。(谷口利男)

団交申し入れで

解雇撤回！ 関西地方本部

三洋電機の子会社である三洋テレフォンサービス(株)の人材派遣部門は、1月のパナソニックグループ再編で別資本へ事業譲渡され、(株)お電話センターとして再スタートしました。

事業縮小により、人材派遣部門で営業管理職を担当していた男性社員(49才)は解雇通告を受けたため、電機・情報ユニオンに相談。

電機・情報ユニオンが3月13日に(株)お電話セ

ンターへ団体交渉を申し入れたところ、会社は団体交渉を回避し、解雇をあっさり撤回しました。

男性社員は、(株)お電話センターで電話要員として仕事を続けることになりました。(西野 健一)

働く者の生活向上と雇用延長を求めて～鈴木喜美子さんを語る会～

鈴木喜美子さんの雇用延長をめざす支援連絡会は3月17日、昨年の11月24日に急逝された山村フオトニクス(旧NEC真空硝子)の鈴木喜美子さんの雇用延長のたたかいを総括し、鈴木さんが切り開いたたたかいと遺志を受けとめる「鈴木喜美子さんを語る会」を中小業者総合センターで開催しました。

「語る会」には、雇用延長を求める労働審判を担当された藤田温久弁護士、今井節生電機懇代表、米田徳治委員長をはじめ、会場いっぱい55名の方が参加され、鈴木さんの雇用延長の取り組みを含めた30数年間のたたかいと人柄が多くの方から披露されました。

とりわけ、鈴木さんの2年半におよぶ雇用延長のたたかいは、職場の人たちを勇気づけ、活動家を励まし続けてきたことを改めて参加者の胸に刻み込みました。

「鈴木さんに励まされて雇用延長を選択した」「いつもニコニコと笑顔で、毅然とたたかい続けてきた」「職場では、キラキラと輝く太陽のような存在だった」など、多くの活動がエピソード

ドもまじえて話されました。

また、オープニングにはNEC玉川事業場OBの松平晃さんのトランペット演奏、半ばには同僚のフルート演奏と松本良江さんの独唱、最後には参加者全員での合唱が行われ、歌好きの鈴木さんにふさわしい「会」にもなりました。

終わりに挨拶された鈴木さんのお兄さんは「明るくて良い会でした。喜美子も喜んでいてほしい」と、お礼と感想を述べられました。

(森 英一)

